

事業所名

キッズサポート ひだまり

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8年

1月

20日

法人（事業所）理念		子どもたちが一人ひとり安心して過ごせる居場所の中で、それぞれの発達段階や特性を大切にしながら、日常生活や社会の中で必要とされる力を育むことを理念とします。また、体験的な活動や社会とのかかわりの中で、子どもたち自身が考え、話し合い、相談しながら物事を決めていく経験を大切にし、協調性を育みながら、将来、地域や社会の一員として自分らしく生活していきける力の基盤づくりを目指します。							
支援方針		デジタル等のデジタル技術を活用した支援や体験型の活動を取り入れ、子ども一人ひとりの発達段階や特性、体調や気持ちを大切にしながら、それぞれのペースに合わせた無理のない支援を行います。公共交通機関の利用や地域イベントへの参加、就労体験等の社会体験においては、活動内容や役割について、子どもたちの意見を主体として決定していきます。その過程を通して、相手の意見を聞くことや、折り合いをつけながら進める体験を大切にし、協調性を育みながら、社会に出た時に困らない力を段階的に身につけられるよう支援します。							
営業時間		平日：13時00分	から	平日：17時00分	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	放課後等デイサービスを利用する中で、安心して過ごせる生活環境を整え、体調管理や休息の取り方、身だしなみ、持ち物管理など、日常生活に必要な力を体験的に身につけられるよう支援します。外出や社会体験の際には、生活リズムや安全面に配慮しながら取り組みます。							
	運動・感覚	運動遊びや体を使った活動に加え、デジタル等のデジタル技術を活用した支援を取入れ、楽しみながら身体の使い方や感覚の調整力を育てます。公共交通機関の利用や外出活動を通して、実際の環境の中で身体を動かす体験を大切にします。							
	認知・行動	遊びや体験活動、社会参加の場面を通じて、見通しをもって行動する力や、状況に応じた判断力を育てます。デジタルを活用しながら、考える力や集中力を養い、公共の場や就労体験等においても落ち着いて行動できるよう支援します。							
	言語コミュニケーション	日常の関わりや集団活動、地域での体験を通して、あいさつや気持ちの表現、相手の話を聞く力を育てます。公共交通機関の利用や地域イベントの参加など、実際の社会場面の中で、やり取りを経験できるよう支援します。							
	人間関係社会性	集団活動や体験型の支援を通して、ルールを守ること、順番を待つこと、役割を意識する力を育てます。地域のイベント参加や就労体験等の社会体験を取り入れ、将来、社会に出たときに困らないよう、人との関わり方や社会の中での振る舞いを段階的に身に付けられるよう支援します。活動や社会体験の中で、子どもたち同士の話合いや職員との相談を通して、自分の意見を伝えること、相手の意見を受け止めることを経験し、協調性や合意形成の力を育てます。							
家族支援		保護者との日常的な情報共有を大切にし、子どもの様子や成長、課題について共通理解を図ります。必要に応じて相談の機会を設け、家庭での関わり方や生活面について一緒に考えながら子どもの成長を家庭と事業所が連携して支えています。			移行支援		将来の生活や進路を見据え、年齢や発達段階に応じた段階的な支援を行います。就労体験や社会体験を通して、社会に出たときに困らないよう、必要な力を身につけられるよう関係機関と連携しながら支援します。		
地域支援・地域連携		地域の資源や関係機関と連携し、地域の中での体験や交流の機会を大切にします。地域イベントへの参加や公共施設の利用を通して、子どもたちが地域の一員として関わる経験を積めるよう支援します。			職員の質の向上		職員は子ども一人ひとりに寄り添った支援が行えるよう、研修への参加や日々の振り返りを通して専門性の向上に努めます。また、職員間での情報共有や意見交換を大切にし、支援内容の改善や質の向上に継続的に取り組みます。		
主な行事等		季節行事や体験活動、地域イベントへの参加など。行事内容については、子どもたち同士で話し合ったり、職員と相談しながら子どもたちの意見を主体に決定する機会を大切にします。							